

第2次紀の川市長期総合計画後期基本計画策定に係る アンケート調査報告書概要（若者世代）①

【資料③】

1. 調査の概要

- ・調査期間 令和4年2月1日～2月22日
- ・調査対象 満25歳から満39歳の住民1,500人
- ・有効回答率 33.7%

2. 主な調査結果

1. 紀の川市の印象(「第2次紀の川市長期総合計画基本計画策定に係るアンケート調査報告書 (若者世代)」P.8～12)

○紀の川市が「好き」な理由として、「住み慣れたまちだから」「自然環境がよいから」「野菜やフルーツが豊富だから」などの回答が多くあり、上位は高校生世代と同様の結果となりました。異なる点としては、子育て環境に対して一定の支持があり、実際に子育てに取り組んでいる世代が、近隣自治体と比較し、子育て施策が充実していると捉えている可能性があります。

高校生		若者	
1.住み慣れたまちだから	81.2%	1.住み慣れたまちだから	67.3%
2.自然環境がよいから	54.2%	2.自然環境がよいから	45.4%
3.野菜やフルーツが豊富だから	42.9%	3.野菜やフルーツが豊富だから	42.0%
4.まちが安全で安心だから	32.8%	4.子育て環境がよいから	34.3%

○一方で「嫌い」な理由としては、「休日に出かける場所がないから」「交通の便が悪いから」「買い物が不便だから」など、外出時の不満に関する回答が目立ちます。また、「病院等の医療施設不十分だから」といった不満もあり、夜間救急等の体制の弱さが影響している可能性があります。

高校生		若者	
1.休日に出かける場所が少ないから	79.6%	1.休日に出かける場所が少ないから	67.2%
2.交通の便が悪いから	64.1%	2.交通の便が悪いから	62.0%
3.買い物が不便だから	53.9%	3.買い物が不便だから	41.9%
4.イベントが乏しいから	17.4%	4.病院等の医療施設が不十分だから	28.4%

第2次紀の川市長期総合計画後期基本計画策定に係る アンケート調査報告書概要（若者世代）②

2. 定住意向・希望職種（P.13～20）

○転入先として紀の川市を選んだ理由を問う質問結果から、市外から見た紀の川市の魅力として、「土地・家賃が安価」「自然が豊かであるため」「大阪や和歌山市へのアクセスのよさ」などが挙げられます。

○定住意向を問う質問では、「紀の川市に住み続けたいが、事情があり移らざるを得ない」「住み続けたくない」と答えた方が全体の9.1%で、高校生世代と比較して定住意向が強くなっています。また、「将来も紀の川市に住み続けたい」と回答した方は、「打田地域」及び「桃山地域」に住んでいる方、また年代が上がるにつれて、多い傾向があります。

さらに、住み続けない方のうち多くが「近くの市町（和歌山市、岩出市など）」を希望（住む予定）しており、高校生世代では「関西圏の大都市」の回答が多かったことから、年齢を重ねると転出したい（する）地域への距離が縮む傾向があることが分かります。

○住み続けられない理由を問う質問では、「結婚のため」「仕事上の都合」と回答する方が多くなっており、ライフイベントのタイミングで転出することが分かります。

また、少数ではありますが、2.2%の方が、「病院や福祉施設が不足しているから」という理由で紀の川市を離れることを考えています。

第2次紀の川市長期総合計画後期基本計画策定に係る アンケート調査報告書概要（若者世代）③

3. 結婚・子育てについて（P.21～28）

○未婚理由を問う質問では、「結婚後の生活に経済的な不安があるから」「結婚資金が足りないから」と回答した方が合わせて38.2%となっています。特に「非正規職員」「無職」、「サービス業」「農林業種」の方が、経済的な理由から結婚に対して消極的な傾向があります。

○子育てに対する不安を問う質問では、「子育てや子どもの教育にお金がかかること」と回答した方が最も多く、経済的な不安があることが分かります。

次いで、「子どもを遊ばせることができる場所がすくない」と回答したが多くなっていますが、地域別で見ると「粉河地域」「桃山地域」「貴志川地域」の割合が高くなっています。

4. 紀の川市のこれからのまちづくりについて（P.29～30）

○重要施策を問う設問で、最も回答が多くなったのは「子育てをしやすいまち」で、子育て世帯の特徴が表れています。

重要施策	
1.子育てをしやすいまち	50.8%
2.年齢や障害に関わらず誰もが安心して暮らせるまち	37.9%
3.道路や公共施設など、交通が便利なまち 犯罪の少ない安全安心なまち	30.6%

第2次紀の川市長期総合計画後期基本計画策定に係る アンケート調査報告書概要（若者世代）④

3. 自由意見 まとめ

- 市内に産科が無くなったことで、お産難民が生じており、早急な改善を求める意見が多数ありました。
- 市内で、買い物ができる商業施設が少なく、市外へ買い物へ行かざるを得ない状況にある。
- 子どもの手続きにおいて、毎年同じような書類（現況届等）を書く必要があり、保護者の負担軽減が求められています。
- 「野遊びの丘」が出来たことに対する満足度は高い一方で、他地域にも公園を求める声が多数ありました。また、雨天時や荒天時にも使用できる施設を求める意見も多数見られました。
- 子育て施策への一定の満足は見られるものの、関心の高い施策となっており、より一層の充実が求められています。
- 実際に行っている施策の情報が行き届いていない意見も多々あり、情報発信・提供に課題があると考えられます。